

放射能心配の親子支援

飯塚の市民団体

福島第一原発事故による放射能汚染の影響を心配する福島県やその周辺の親子を、筑豊地区に短期滞在で受け入れようと、飯塚市に市民団体「ツナガットー」が結成され、活動を始めた。ひとときでもストレスから解放された環境で過ごしてもらいたいと願う。

筑豊へ短期滞在受け入れ

東日本 大震災

ウスとして使い、1〜2週間程度受け入れる。

ツナガットーのメンバー、四宮都也子さん(37)は

千葉県出身。関東の知人が

放射能の影響に不安を抱え

ながら子育てしていること

を知った。飯塚市で開かれ

ている「みんなで考える原

発講座」で一緒になった渡

辺福さん(44)らとツナガッ

トーを結成した。

講座を始めた元東京女子

大学非常勤講師の清水功也

さん(36)は、原発事故後に

東京から妻の実家がある飯

塚市に避難してきた。ふる

さとにとどまるのか、離れ

るのか、放射能への反応は

人によって様々だ。清水さ

んは「自分で判断するしか

ないが、離れたいと思っ

ても出来ない人を選択の機

会を与えるのが今回の目的

です」と話す。

筑豊に滞在中は、子ども

に野外で存分に遊んでも

らう。農業体験などのイ

ベントも開く。農業や育

児など得意分野で活動に

協力してくれるサポーター

を随時受け付ける。受け入

れる子どもの年齢に条件は

設けず、ケースバイケース

で対応する。移住を考える

親子には相談に乗るとい



放射能汚染の影響を心配する親子を受け入れ、支援する「ツナガットー」のメンバーら(飯塚市)

(今村建二)

滞在中の生活費などは会費で賄う考えで、会員を募集している。年会費は個人3千円、学生1500円、法人1万円。問い合わせは電話(090・8720・5726)かメール(mail@tsunagateau.com)に届けて。